2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　株式会社Ａｒｅｎｔ　上場取引所　東
コード番号　5254　ＵＲＬ　https://arent.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鴨林　広軌
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　（氏名）中嶋　翼　ＴＥＬ　053（523）8072

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	1,966	100.2	477	195.8	476	184.1	299	261.8	43.86	42.48
2026年６月期第１四半期	982	28.9	161	△55.5	167	△44.5	82	△61.5	12.66	11.96

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　299百万円（312.3%）　2026年６月期第１四半期　72百万円（△66.3%）

	売上高		のれん償却前営業利益		のれん償却前経常利益		のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益		のれん償却前１株当たり四半期純利益	のれん償却前潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	1,966	100.2	589	205.3	588	195.1	411	259.6	60.28	58.38
2026年６月期第１四半期	982	28.9	192	△46.7	199	△34.0	114	△46.7	17.50	16.54

（注）のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額
のれん償却前経常利益＝経常利益＋のれん償却額
のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益＋のれん償却額

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	11,076	7,546	68.1
2026年６月期	10,621	7,257	68.3

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　7,545百万円　2026年６月期　7,256百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,465	45.2	1,706	84.9	1,704	81.7	1,013	△33.0	148.54
（参考：のれん償却前）	8,465	45.2	2,155	78.0	2,153	75.7	1,462	△18.8	214.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	6,954,295株	2026年６月期	6,954,295株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	133,191株	2026年６月期	130,542株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	6,822,242株	2026年６月期１Ｑ	6,534,645株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等に支えられ緩やかな回復傾向にあるものの、物価の上昇や為替の変動、中東情勢等の影響について注視を要する状況が続いております。

また、AI技術の普及が急速に進むなど、企業のデジタル化・DX推進の流れは継続しており、当社グループが主なターゲットとする建設業界においても、時間外労働の上限規制等への対応が求められる中、DXによる生産性向上への関心が高まっています。

このような中、当社グループは、クライアントの課題を把握し、モデル化・実装まで一気通貫でDXを推し進めるためのソフトウエア開発及びサービス提供を行っております。

特に、建設業界のDX需要の高まりに狙いを定め、当社グループの強みの一つである「3Dを核としたシステム開発の技術力」を活かし、クライアント企業の業務効率化を実現する高品質なプロダクトの共創開発等を実施するDX事業に注力しております。

また、当社グループは、DX事業の更なる拡大とともに、自社グループのプロダクト群の拡充を目指しています。プロダクト事業では、これまでに開発した空間自動設計システム「PlantStream®」や、建設業界のBIM化を推進するソフトウエア「Lightning BIMシリーズ」に加えて、M&Aで子会社化した各社が保有するプロダクトなどの販売拡大を目指し、営業活動の強化に取り組んでおります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は1,966,532千円（前年同期比100.2%増）、営業利益は477,215千円（同195.8%増）、経常利益は476,465千円（同184.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は299,237千円（同261.8%増）となりました。なお、当社グループは、M&Aにより発生した会計上ののれんの償却額を除いたキャッシュ・フローベースの実質的な収益力を評価するため、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。当第１四半期連結累計期間におけるのれん償却前営業利益は589,211千円（前年同期比205.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、従来、セグメント利益又は損失には、経常利益を用いておりましたが、営業利益にのれん償却額を足し戻したのれん償却前営業利益に変更しております。前第１四半期連結累計期間との比較は、変更後の測定方法に組み替えた数値で行っております。また、当第１四半期連結会計期間より、部門別に費用を集計する体制を整備したことに伴い、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、販売費及び一般管理費の各報告セグメントへの配賦方法を変更しております。詳細は、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記　（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項　（セグメント情報等の注記）　Ⅱ　当第１四半期連結累計期間」の「３．報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

（DX事業）

DX事業では、建設業界からの受託開発の受注が継続し、業績は堅調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は1,180,010千円（前年同期比27.4%増）、セグメント利益は545,223千円（同55.7%増）となりました。セグメント利益率は46.2%と、高い利益率を維持しております。

（プロダクト事業）

プロダクト事業では、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社スタッグ、株式会社建設ドットウェブ、アサクラソフト株式会社及び株式会社レッツの経営成績が期首から寄与したこと等により、当セグメントの売上高は795,802千円（前年同期比271.9%増）、セグメント利益は43,988千円（前年同期はセグメント損失27,138千円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりとなりました。

（資産）

資産合計は、前連結会計年度末比454,347千円増加し、11,076,250千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が377,197千円、現金及び預金が210,558千円増加した一方で、のれんが111,996千円、繰延税金資産が89,724千円減少したことによるものです。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末比165,319千円増加し、3,529,987千円となりました。これは主に、契約負債が128,500千円、賞与引当金が68,627千円増加した一方で、未払費用が37,455千円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末比289,028千円増加し、7,546,263千円となりました。これは主に、親会社株主

に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が299,237千円増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が10,399千円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想につきましては、2026年８月６日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,146,469	4,357,028
受取手形、売掛金及び契約資産	1,358,616	1,735,813
仕掛品	14,746	17,098
貯蔵品	7,102	7,960
その他	247,523	288,999
流動資産合計	5,774,458	6,406,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,722	39,849
工具、器具及び備品（純額）	67,339	70,735
その他（純額）	15,834	13,869
有形固定資産合計	123,896	124,455
無形固定資産		
のれん	2,536,899	2,424,903
ソフトウエア	610,031	623,455
ソフトウエア仮勘定	120,385	128,818
その他	832	1,232
無形固定資産合計	3,268,150	3,178,411
投資その他の資産		
関係会社株式	26,361	26,361
繰延税金資産	1,117,362	1,027,638
その他	311,673	312,484
投資その他の資産合計	1,455,398	1,366,484
固定資産合計	4,847,444	4,669,350
資産合計	10,621,902	11,076,250
負債の部		
流動負債		
短期借入金	80,000	80,000
１年内返済予定の長期借入金	53,508	49,026
１年内償還予定の社債	71,000	71,000
未払金	172,917	170,785
未払費用	214,205	176,749
未払法人税等	120,747	134,146
未払消費税等	102,119	134,024
契約負債	1,867,454	1,995,954
賞与引当金	87,585	156,212
その他	82,742	63,004
流動負債合計	2,852,279	3,030,904
固定負債		
社債	13,500	13,500
長期借入金	134,727	122,844
役員退職慰労引当金	328,591	329,137
退職給付に係る負債	26,213	27,343
その他	9,356	6,257
固定負債合計	512,389	499,082
負債合計	3,364,668	3,529,987

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,536	1,286,536
資本剰余金	3,015,522	3,015,522
利益剰余金	3,411,591	3,710,828
自己株式	△459,600	△470,000
株主資本合計	7,254,049	7,542,886
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,075	2,258
その他有価証券評価差額金	△2	5
その他の包括利益累計額合計	2,072	2,263
新株予約権	1,112	1,112
純資産合計	7,257,234	7,546,263
負債純資産合計	10,621,902	11,076,250

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	982,347	1,966,532
売上原価	480,083	701,676
売上総利益	502,263	1,264,856
販売費及び一般管理費	340,937	787,641
営業利益	161,326	477,215
営業外収益		
受取利息	2,868	3,892
受取配当金	－	26
為替差益	2,684	－
その他	1,948	2,019
営業外収益合計	7,501	5,938
営業外費用		
支払利息	950	1,096
為替差損	－	5,213
その他	149	378
営業外費用合計	1,100	6,688
経常利益	167,727	476,465
特別利益		
新株予約権戻入益	324	－
特別利益合計	324	－
特別損失		
ソフトウエア除却損	4,064	－
特別損失合計	4,064	－
税金等調整前四半期純利益	163,987	476,465
法人税、住民税及び事業税	93,563	88,125
法人税等調整額	△11,996	89,102
法人税等合計	81,566	177,227
四半期純利益	82,420	299,237
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△283	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,703	299,237

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	82,420	299,237
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9,797	182
その他有価証券評価差額金	－	8
その他の包括利益合計	△9,797	191
四半期包括利益	72,622	299,428
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,906	299,428
非支配株主に係る四半期包括利益	△283	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	DX事業	プロダクト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	769,232	213,114	982,347	－	982,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	156,900	875	157,775	△157,775	－
計	926,133	213,989	1,140,122	△157,775	982,347
顧客との契約から生じる収益	926,133	213,989	1,140,122	△157,775	982,347
その他の収益	－	－	－	－	－
セグメント利益又は損失（△）	350,265	△27,138	323,126	△161,800	161,326

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△68,499千円、子会社株式取得関連費用△61,632千円及び報告セグメントののれん償却額△31,668千円であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントのセグメント利益は、営業利益にのれん償却額を足し戻したのれん償却前営業利益にて表示しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	DX事業	プロダクト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,170,729	795,802	1,966,532	－	1,966,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,280	－	9,280	△9,280	－
計	1,180,010	795,802	1,975,813	△9,280	1,966,532
顧客との契約から生じる収益	1,180,010	795,802	1,975,813	△9,280	1,966,532
その他の収益	－	－	－	－	－
セグメント利益	545,223	43,988	589,211	△111,996	477,215

（注）１．セグメント利益の調整額は、報告セグメントののれん償却額△111,996千円であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３．報告セグメントのセグメント利益は、営業利益にのれん償却額を足し戻したのれん償却前営業利益にて表示しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（測定方法の変更）

当第１四半期連結会計期間より、部門別に費用を集計する体制を整備したことに伴い、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、販売費及び一般管理費の各報告セグメントへの配賦方法を変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間のセグメント利益が、「DX事業」で40,241千円増加し、「プロダクト事業」で40,241千円減少しております。

また、前連結会計年度より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、従来、セグメント利益又は損失には、経常利益を用いておりましたが、営業利益にのれん償却額を足し戻したのれん償却前営業利益に変更しております。前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。この変更に伴い、従来の経常利益での集計に比べ、前第１四半期連結累計期間のセグメント利益が、「プロダクト事業」で31,668千円増加し、調整額が38,069千円減少しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	60,231千円	76,994千円
のれんの償却額	31,668千円	111,996千円